

運動好きな 子供への挑戦

大分県別府市立南小学校

全校児童数	300名(男子135名 女子165名)		
全クラス数	14	教職員数	21名(内体育専科1名)
クラブ活動または運動部活動	3	参加延べ人数	63人
地域の外部指導者の活用(年間延べ人数)			18人

取組時の課題と目的

Plan

1 取組時の課題

新体力テストでは、全国平均に達しない種目が多く、運動の基礎体力も伸び悩んでいた。そこで全校をあげて、体育専科教員による系統的な体育学習、日常的な体力づくりを行い、子供たちが自ら挑む体育を目指し、「運動好きな子供への挑戦」に取り組むことにした。

2 取組の目的

- ①体育専科教員を中心に、全学級、TT体制で体育学習を実施し、多くの運動に触れられるようにする。
- ②体育の学習で「今日、何をがんばるか」のめあてをもたせ、45分間、一生懸命取り組めるようにする。
- ③日常活動において、毎日50m走に取り組めるようにする。

取組の内容

Do

1 年間指導計画の見直し(体育専科教員を中心に)

- 全学年、運動を行う時期をそろえ、準備する時間を節約し、系統的な指導の流れを組む。
- 前年度、指導が充分でない種目を取り入れ、なるべく多くの種目に触れられるようにする。

2 体育活動の実践

(体育専科教員が学習の流れを作成)

(1) 学習の流れ「45分間、フルに体育」

授業時間を有効に活用し、常に体を動かせるよう工夫し、基本的な学習の流れを「走る→準備運動→主運動→ふり返り」と設定した。準備運動に入るまで、各自トラックを走って体を動かしている。

- ①準備運動：音楽に合わせてストレッチ運動を行う。
- ②主運動：「めあての確認→主運動・学び合い→めあての立て直し→主運動・学び合い」とすることで、子供が主体的に授業に取り組めるようにした。
- ③ふり返り：学習カードに、よかった点、反省点等を記録し、次時のめあてづくりのヒントにする。
- ④壁新聞：体育専科教員が作り、写真や吹き出しを入れ、各学年の掲示板に掲示し、学習のヒントにする。

(2) 体育専科教員と担任とのTT体制、少人数指導

T1の体育専科教員が全体指導にあたって、学習をスムーズに流し、クラスの状況を把握している担任がT2として、支援の必要な子供につき、困っている点やつまづきをアドバイスしている。球技等で複数のチームがある場合、T1とT2で担当のチームを分け、子供たちに動きや声のかけ方等、より多くのアドバイスができるようにし、また、鉄棒や走り幅とびのような、施設や用具の少ない運動でも待ち時間を減らして運動

量を確保するため、T1とT2で分担して2種目を同時に行う等、全員が動く体育にしている。

(3) 毎日取り組む50m走(50m走タイム)

朝始業前と中休みの短い時間でもできることから、50m走に毎日取り組み、運動の基礎づくりとしている。学習カードに色を塗る等、個人で目標を立てやすくしている。外遊びや運動量の増加にもつながっている。

3 地域の外部指導者の活用

(1) 1、2年生の水泳指導に地域の外部指導者

水泳の指導経験者等、地域の人材に学校が直接呼びかけ、低学年の水に慣れる指導にあたってもらっている。水泳の導入部を専門的に指導してもらうことで、水を怖がらず、水泳の基本を身に付けることができる。

(2) 担任も一緒にいき指導力アップ

地域の外部指導者の授業に担任も入り、楽しみながらの水慣れ、水遊び、2人組でけのびのフォーム作り等、子供たちが自ら進んで取り組む指導方法や、「おへそを見て」「プールの声を聞いて」等の声かけの仕方、苦手な子供への支援の仕方等を学ぶ。

●工夫したこと

- ①運動量の確保：授業の流れに沿った準備をして、間をあげず、流れるように学習を進めた。
- ②学習カードの開発：単元や授業のはじめに、カードに各自のめあてを書いて「今日、何をがんばるか」を意識させ、ふり返りにも役立てるようにした。
- ③「私の走力」：50m走を4月、9月、3月に記録をとり、励みにするとともに記録証を渡した。

取組の成果

Check

- ①TTでの指導と、学習の流れを工夫することにより、授業時間内でより多くの運動に取り組み、体を動かしている時間を増やすことができた。校内で行っているアンケート調査の結果では、85%の子供が運動好きと回答している。
- ②今年度の新体力テストで、反復横とび、シャトルラン、50m走、立ち幅とびが全学年で全国平均以上。

今後の課題

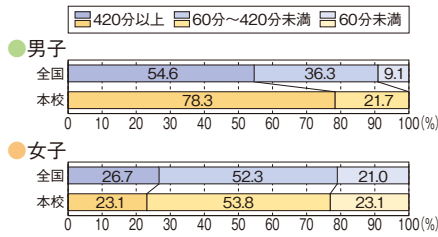
Action

- ①体育学習の指導方法の工夫・充実と、TT体制や少人数指導法の探求に併せて、使いやすく自己評価につながる学習カードの改良が必要である。
- ②学級の係活動や、体育委員会の取組と連携し、50m走のさらなる充実を図る。
- ③低学年の水泳指導(水慣れ)の指導法(例)の作成。

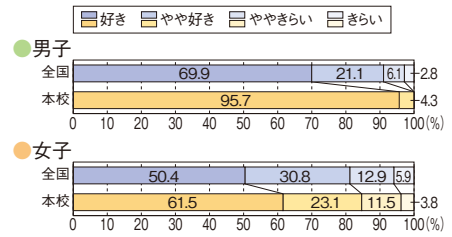
●体力合計点と運動時間

	男子	女子	
体力合計点(点)	58.3	57.8	
(学級別) 合計(総)	A	17.4	19.2
	B	43.5	34.6
	D	17.4	11.5
	E	0.0	0.0
	AB-DE	43.5	42.3
1週間の総運動時間(分)	1027.8	287.2	
60分未満の割合(%)	0.0	23.1	

●1週間の総運動時間の分布



●[質問14] 運動やスポーツが好き

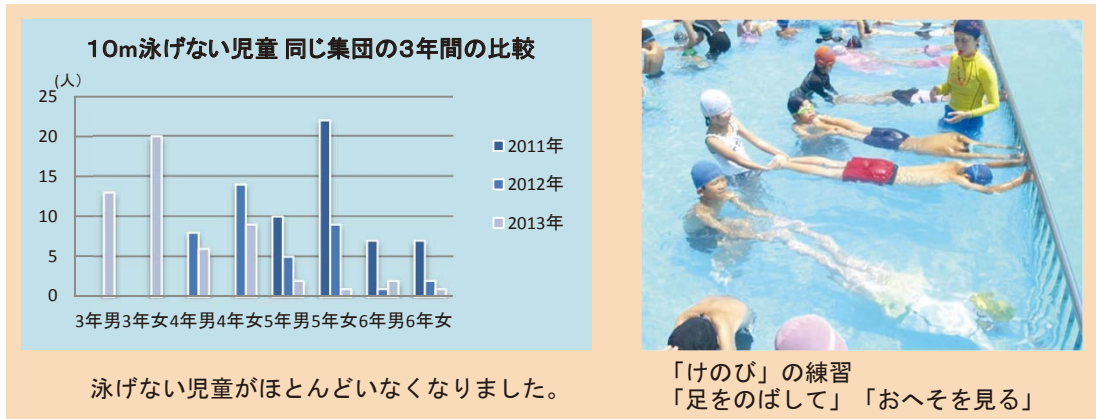


4年生 「ハンドボール」における45分間、フルに体育

走る→準備運動→作戦やめあての確認→主運動(ゲーム→作戦の立て直し・学び合い→ゲーム)→ふり回り



2年生 「水遊び」 地域の外部指導者の活用



毎日の活動 50m走

